



イ14
A 263
165



三月の二十日
多摩川
多般參軍少縣川村、左ノ通電信差立
レハ少シクノ為ニ用申ス苗地ニテ情態ラ
察スルニ賊勢頗ル衰微ノ様子ニ有之
既ニ淵邊様山之兩名ヨリ歸縣新兵ヲ募
リ益夜兼行シテ繰出シ又モルチール敷
門輸送セリト是レ必ラス然本ヲ攻撃キ
ノ為ニナルハシ最早彈藥製造所ガ屬分
シタレハ此際必ス官軍大率ノ進撃然ル

モ多摩川



大正官
ヘキカト想像ス徒量多クハ背カシ集メタ
ルモノナレバ兵鋒察スヘシ故ニ当地ノ報
知スルハ必ス勝利ニテ最早態存モ落城
ト謂ヒ做シ賊軍ノ強キヲ稱賛スル巷説紛
々タリ高嶋ノ一大隊半ハ最早当地ニ用ナケ
レハ何方ノカ振リ向ケ可然ル下官モ御用
濟ミタレハ此上何方ニテモ至難ノ場所
御差向ケヲ乞フ